

平成25年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

## 桃太郎チャレンジキャンプ

平成25年6月29日(土)～30日(日)

### 1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

小学校中学年の児童が、吉備の自然の中で共に宿泊体験や自然体験活動にチャレンジし、仲間と協力することの大切さを体験することで、自尊感情を高められるようにする。

### 2. 事業の概要

#### (1) 開催日

平成25年6月29日(土)～30日(日)

#### (2) 募集人員

参加対象 小学校3・4年生

参加者 24名

#### (3) 講師等

ボランティア 10名

ツリーイング指導者 3名



桃太郎の約束事

#### (4) 企画・運営のポイント

- ・スタッフ全員が事前研修に参加することで、当日の運営はもとより、参加者の健康面や生活面で配慮することなどを共通理解して当日に臨めるようにした。
- ・子どもたちを「桃太郎」とし、このキャンプを通して各自の心の中にある弱い心を「鬼」に見立てて、その心を克服していく過程で互いを認め合い、自尊感情の向上に繋がるようにした。
- ・班の目標を旗作りを通して設定することで、仲間と協力することの大切さや各個人の班に対する帰属意欲に繋がるようにした。
- ・各活動の開始時には、活動の目当てを確認することで、みんなで目的意識をもって活動できるようにした。
- ・各活動がより良いものとなるように、活動終了後にふりかえりの場面をもつことで、次の活動にふりかえりの成果が生かせるようにした。
- ・発達障害のある児童への活動支援として、活動に必要な荷物や活動時間の始終を掲示物や時計を使用して、可視化するなどの工夫を取り入れた。
- ・班担当ボランティアが閉会式後、保護者に2日間の子どもの頑張りや成長を伝える場面を設定することで、児童の様子を責任をもってより観察しなければならない関わり方をもたせた。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程等

6月29日(土)		6月30日(日)	
9:30	開会式	6:15	起床・清掃
10:00	チーム桃太郎をつくろう！ (仲間作りゲーム)	7:15	朝のつどい
12:00	昼食	7:30	朝食
13:00	鬼ヶ島を探しに出かけよう！ (ツリーイング)	9:00	鬼ヶ島へ上陸だ！ (カッター)
17:20	夕べのつどい	12:00	昼食
17:35	夕食	13:00	お宝を持ち帰ろう！
18:30	ドラム缶風呂準備	15:00	2日間の反省
19:30	ドラム缶風呂入浴	15:30	閉会式
21:00	1日の反省		
21:30	健康観察、就寝準備		
22:00	就寝(テント泊)		

#### (2) 活動の状況



どんな目標にする？



班旗できました！



鬼ヶ島は見える？



ドラム缶風呂楽しみ！



鬼ヶ島へ上陸だ！



お宝を持ち帰ろう！

### 4. 成果・課題

#### (1) 成果

- ・児童たちは「桃太郎」としての自覚と意欲を持ち、自身へのチャレンジや班の仲間と協力して活動しようとする姿が見られた。各活動開始時に目当てを確認することで目的意識をもって取り組むことができ、活動終了後のふりかえりに生かすことができた。

- ・ I K R 調査では、「生きる力」の変容が事前から事後にかけて、11.5ポイント向上、「心理的社会的能力」が、7.4ポイント、「身体的能力」が2.2ポイントと、その向上に有意差が見られた。
- ・ 掲示物などを活用して、活動の時間や準備物を事前に示したことで、時間を守ろうとする意識付けができ、活動への忘れ物も無かった。
- ・ 施設ボランティアを招集して、事前研修を実施することで、当日の運営に向けた活動内容を確認することができ、当日はタイムスケジュールをうまく流すことができた。加えて、参加児童への配慮事項や緊急時における対応を共通理解できたことで、先見的視点をもって運営に臨むことができた。また、継続ボランティアと今年度新規加入ボランティアをペアにすることで、双方のスキルアップに繋げることができた。
- ・ 施設ボランティアを、施設職員と同等のスタッフの一員として捉えることで、ボランティアの活動に対する姿勢や考え方が更に前向きになった。また、1日目の反省会で確認したことが、翌日の児童に対する接し方など即座に反映され、ボランティアとしての成長ぶりが観察された。

## (2) 参加者の声（保護者聞き取りより）

- ・ 1日たって会った子どもの顔がいきいきとしていました。よほど楽しかったのでしょう。
- ・ 最初すごく緊張していたようですが、終えた後はとっても嬉しそうな誇らしそうな表情で、お友だちのことや体験を通して色々自信につながったかなと、わずかながら思いました。
- ・ 知った人が誰もいない経験が初めてでしたが、いい経験になったと思います。仲間とはゲームとかを通して、すぐ仲良くなれたことが嬉しかったようです。
- ・ 友だちと仲良くなれたことと、できなかったことができたり、勇気がでたと言っていました。
- ・ とっても楽しかった。友だちができたこと、みんなと協力して色々なことをしたのがとても嬉しかった。チームワークでがんばってみようと思う。
- ・ スタッフの方とも仲良くなって、2日間で少し成長したかなと思います。リーダーが優しくて、それで周りも優しくできたと言っています。

## (3) 今後の課題など

- ・ 事前に個票などで参加児童の様子を把握していたが、チェック項目に示されていない事態（感情の起伏が激しく、自分をコントロールできない）が起こった。今後は、そうした児童への対応も事前研修で学習しておく必要がある。

担当：企画指導専門職 村上 聖一